



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 イチカワ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3513 URL <http://www.ik-felt.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蛭間 良右
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 村松 伸一 TEL (03)3816-1111
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,929	10.0	472	—	431	—	194	—
22年3月期第3四半期	8,120	△14.9	△355	—	△311	—	△1,644	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	7.25	—
22年3月期第3四半期	△61.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	27,841	16,350	58.7	609.45
22年3月期	28,720	16,478	57.4	614.13

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 16,350百万円 22年3月期 16,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	7.4	610	—	510	—	350	—	13.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	29,835,758株	22年3月期	29,835,758株
23年3月期3Q	3,007,080株	22年3月期	3,003,686株
23年3月期3Q	26,830,173株	22年3月期3Q	26,834,483株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の改善を背景に輸出が緩やかに増加し生産も持ち直すなど一部に回復の兆しが見られましたが、失業率が高水準で推移し、円高基調が継続するなど先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要取引先であります紙・パルプ業界におきましては、紙・板紙の需要は下げ止まりつつあるものの、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は8,929百万円（前年同期比10.0%増）となりました。損益の状況につきましては、売上高の増加に加え徹底的なコスト削減対策によりまして、連結営業利益は472百万円（前年同期は連結営業損失355百万円）、連結経常利益は431百万円（前年同期は連結経常損失311百万円）となりました。また、投資有価証券評価損及び減損損失等を特別損失に計上したことにより、四半期純利益は194百万円（前年同期は四半期純損失1,644百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

<抄紙用具関連事業>

(日本)

内需につきましては、厳しい市場環境の中、懸命な受注活動が奏功し、抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量は増加いたしました。輸出につきましては、積極的な拡販活動が奏功し、抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量は増加いたしました。この結果、売上高は6,343百万円となりました。

(北米)

抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに販売数量が増加したことにより、売上高は659百万円となりました。

(欧州)

抄紙用フェルトの販売数量は減少いたしましたが、抄紙用ベルトの販売数量が増加したことにより、売上高は1,119百万円となりました。

(中国)

抄紙用フェルトの販売数量は増加いたしましたが、抄紙用ベルトの販売数量が減少したことにより、売上高は289百万円となりました。

<工業用事業>

内需及び輸出ともに販売数量が増加し、売上高は517百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ879百万円減少し、27,841百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が379百万円増加した一方、有形固定資産が870百万円、投資有価証券が275百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ752百万円減少し、11,490百万円となりました。これは主として固定負債のリース債務が1,116百万円増加した一方、短期借入金が2,087百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ127百万円減少し、16,350百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が115百万円、その他有価証券評価差額金が98百万円それぞれ減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ43百万円増加し、2,076百万円（前年度末比2.1%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益165百万円を計上したほか、減価償却費を源泉とした収入1,113百万円などにより1,430百万円の収入（前年同期比1,061百万円の収入増）となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出258百万円などにより、261百万円の支出（前年同期比1,726百万円の支出減）となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・リースバック取引による収入1,469百万円がある一方、短期借入金の減少による支出2,048百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出206百万円、長期借入金の返済による支出195百万円などにより1,088百万円の支出（前年同期は1,931百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の連結業績予想につきましては、平成22年10月28日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、売上高11,900百万円、営業利益610百万円、経常利益510百万円、当期純利益350百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっています。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益が1,436千円、税金等調整前四半期純利益は15,050千円減少しています。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,076,388	2,032,934
受取手形及び売掛金	4,662,177	4,282,977
商品及び製品	1,801,798	1,892,842
仕掛品	803,452	854,515
原材料及び貯蔵品	343,657	341,597
繰延税金資産	115,413	67,258
未収還付法人税等	46,269	—
その他	136,526	221,025
貸倒引当金	△10,240	△19,921
流動資産合計	9,975,445	9,673,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,051,971	8,357,518
リース資産(純額)	2,996,627	1,807,433
その他(純額)	3,942,365	5,696,752
有形固定資産合計	14,990,965	15,861,704
無形固定資産		
投資その他の資産	180,044	215,355
投資有価証券	2,606,047	2,881,090
繰延税金資産	22,625	16,963
その他	134,927	142,040
貸倒引当金	△68,766	△69,456
投資その他の資産合計	2,694,833	2,970,637
固定資産合計	17,685,843	19,047,698
資産合計	27,661,288	28,720,927

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	750,666	576,521
短期借入金	1,945,588	4,033,544
リース債務	340,007	196,862
未払法人税等	50,073	41,437
賞与引当金	159,463	265,106
その他	901,905	700,250
流動負債合計	4,147,705	5,813,722
固定負債		
長期借入金	690,000	885,000
リース債務	2,849,473	1,733,062
退職給付引当金	2,126,696	2,065,157
その他	1,676,586	1,745,641
固定負債合計	7,342,756	6,428,860
負債合計	11,490,462	12,242,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,594,803	3,594,803
資本剰余金	2,323,015	2,323,218
利益剰余金	11,505,885	11,419,001
自己株式	△1,061,342	△1,060,985
株主資本合計	16,362,362	16,276,037
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	237,044	335,144
為替換算調整勘定	△248,580	△132,838
評価・換算差額等合計	△11,535	202,306
純資産合計	16,350,826	16,478,344
負債純資産合計	27,841,288	28,720,927

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,120,795	8,929,387
売上原価	5,795,611	5,942,128
売上総利益	2,325,183	2,987,259
販売費及び一般管理費	2,680,403	2,514,724
営業利益又は営業損失(△)	△355,220	472,534
営業外収益		
受取配当金	66,661	64,421
助成金収入	75,476	—
その他	31,197	47,406
営業外収益合計	173,335	111,828
営業外費用		
支払利息	85,198	122,176
その他	44,571	31,168
営業外費用合計	129,769	153,345
経常利益又は経常損失(△)	△311,654	431,017
特別損失		
投資有価証券評価損	—	149,045
減損損失	—	102,964
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,614
早期割増退職金	10,353	—
特別損失合計	10,353	265,623
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△322,008	165,393
法人税、住民税及び事業税	50,314	89,294
過年度法人税等	15,841	—
法人税等調整額	1,255,935	△118,386
法人税等合計	1,322,091	△29,091
少数株主損益調整前四半期純利益	—	194,485
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,644,099	194,485

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△322,008	165,393
減価償却費	1,010,337	1,113,642
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,614
減損損失	—	102,964
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,164	△10,370
賞与引当金の増減額(△は減少)	△174,170	△105,643
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△29,903	61,538
受取利息及び受取配当金	△68,571	△65,496
支払利息	85,198	122,176
為替差損益(△は益)	6,499	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	149,045
売上債権の増減額(△は増加)	△98,244	△498,709
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,924	62,592
仕入債務の増減額(△は減少)	179,300	249,336
その他	△62,831	183,858
小計	518,366	1,543,943
利息及び配当金の受取額	68,571	65,496
利息の支払額	△81,720	△117,532
法人税等の支払額	△135,682	△61,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	369,534	1,430,694
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,988,983	△258,476
その他	530	△3,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,988,452	△261,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	172,170	△2,048,864
長期借入金の返済による支出	△90,000	△195,000
セール・アンド・リースバックによる収入	1,990,508	1,469,208
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△60,913	△206,534
配当金の支払額	△80,198	△107,150
その他	△371	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,931,195	△1,088,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,753	△36,406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	331,031	43,454
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,876	2,032,934
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,241,907	2,076,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	抄紙用具関連 事業(千円)	工業用関連 事業(千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,645,226	475,568	8,120,795	—	8,120,795
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	7,645,226	475,568	8,120,795	(—)	8,120,795
営業利益又は 営業損失(△)	941,354	△129,865	811,489	(1,166,709)	△355,220

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっています。

2 各区分の主な製品

(1) 抄紙用具関連事業…抄紙用フェルト、抄紙用ベルト、スレート用フェルト等

(2) 工業用関連事業……工業用フェルト、工業用関連仕入品

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,944,778	642,247	1,204,222	329,546	8,120,795	—	8,120,795
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,607,914	—	—	72,356	1,680,271	(1,680,271)	—
計	7,552,692	642,247	1,204,222	401,903	9,801,066	(1,680,271)	8,120,795
営業利益又は 営業損失(△)	699,393	△22,155	72,688	48,244	798,171	(1,153,391)	△355,220

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	630,490	1,212,033	1,315,977	3,158,501
II 連結売上高(千円)				8,120,795
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	7.8	14.9	16.2	38.9

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、抄紙用具関連事業及び工業用事業の製造・販売を行っており、抄紙用具関連事業については、日本(当社)・北米(イチカワ・ノース・アメリカ・コーポレーション)・欧州(イチカワ・ヨーロッパGmbH)・中国(宜紙佳造紙脱水器材貿易(上海)有限公司)に販売拠点を置き、事業活動を展開しております。工業用事業については、主に株式会社イチカワテクノファブリクスが販売を担当しております。各会社は、それぞれ独立した経営単位であり、各会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、本社及び連結子会社を基礎とした販売地域又は製品別事業セグメントから構成されており、事業活動の内容及び経営環境に関して適切な情報を提供するため、販売地域ごとに製品の要素が概ね類似する複数の事業セグメントを集約し、「抄紙用具関連事業(日本・北米・欧州・中国)」及び「工業用事業」の5つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	抄紙用具関連事業				工業用 事業	計		
	日本	北米	欧州	中国				
売上高								
外部顧客への売上高	6,343,754	659,519	1,119,258	289,828	517,026	8,929,387	—	8,929,387
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,510,535	—	—	128,794	14,561	1,653,892	(1,653,892)	—
計	7,854,290	659,519	1,119,258	418,623	531,588	10,583,279	(1,653,892)	8,929,387
セグメント利益又は 損失(△)	1,524,731	12,373	95,324	47,392	△18,058	1,661,762	(1,189,228)	472,534

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,189,228千円には、セグメント間消去10,933千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,074,293千円、棚卸資産の調整額△61,502千円、為替レート差額△52,957千円、貸倒引当金の修正等△11,407千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。